

## MSI Marine News

トピックス



- 海上保険の総合情報サイト **MARINEn@vi** もぜひ、ご覧ください。(http://www.ms-ins.com/marine\_navi/)

## 特集

## 「ユーラシア・ランドブリッジ」の現状と今後（1）（全3回）

日本を含む北東アジアと欧州を結ぶ物流ルートは、これまで海路・空路を主な経路としてきました。近年鉄道を使って中国・ロシアを経由する陸路、いわゆる「ユーラシア・ランドブリッジ」が、そのリードタイムの短さから注目を集めています。

本稿では、主要な鉄道輸送ルートとその特徴や今後の利用促進に向けた課題をご紹介します。また、次号以降2回にわたって、輸送ルートの詳細や輸送環境の実態をご案内します。

## 1. 主要ルート

「ユーラシア・ランドブリッジ」と総称される鉄道輸送ルートは、経路地によって様々なルートがありますが、大きくは「シベリア・ランドブリッジ」、「チャイナ・ランドブリッジ（北回り・南回り）」の3つに集約できます。

## 【主要3ルートと主な積替えポイント】



- 「シベリア・ランドブリッジ」  
ロシア・ウラジオストクとモスクワを結ぶシベリア鉄道を経由して、ロシア極東地域と欧州を結ぶルート（全長約 13,000km）です。
- 「チャイナ・ランドブリッジ（北回り）」  
中国・天津港や大連港から、満州里（マンチュリ）または二連浩特（エレンホト）を通過し、シベリア鉄道を経由して欧州に至るルートです。
- 「チャイナ・ランドブリッジ（南回り）」  
中国・連雲港から内陸部の阿拉山口（アラシャンコウ）や霍爾果斯（ホルゴス）よりカザフスタンを通過、シベリア鉄道を経て欧州に至るルート（全長 10,800km）です。現在、中国・欧州間の鉄道輸送の5割以上が「チャイナ・ランドブリッジ（南回り）」経由との情報もあります。

## 2. 「ユーラシア・ランドブリッジ」の特徴

## (1) 国家プロジェクトとして整備が進行中

「チャイナ・ランドブリッジ」は、中国政府が「一帯一路」構想の下で整備を進め、地方政府が補助金を交付するなど、競って地元ターミナルを起点としたブロックトレイン・サービス（※）を

展開しています。

また、「シベリア・ランドブリッジ」は日露両国の経済協力プランの一環として利用促進を図ることが政府間で合意されており、本年秋から輸送品質の検証などのパイロット事業が実施されます。

(※) ブロケットレイン・サービス

同一仕向地向けで輸送途中に列車の編成替えを行わず、一貫輸送サービスを提供すること

### (2) 海路に比べ輸送日数が大幅に短縮

例えば、「シベリア・ランドブリッジ」を利用した場合の横浜・モスクワ間の輸送日数は、約20日と、サンクトペテルブルグを経由した海上輸送(約60日)の1/3程度に短縮されるとの情報もあります。

### (3) 通関手続きや輸送品質などの情報が不足

クロスボーダー輸送では、通関手続きの確認や定時性・輸送品質の確保が課題となりますが、これらの情報がまだ十分でないのが実情です。例えば、「チャイナ・ランドブリッジ(南回り)」では、鉄道の軌間距離(線路の幅)が中国・欧州(1,435mm/標準軌)とロシア・カザフスタン(1,520mm/広軌)で異なるため、国境での積替えが二度発生し、積替え時の貨物へのダメージが懸念されます。また、輸送中に貨物に加わる衝撃についても情報が少なく、輸送環境全般についてより詳細な情報を収集していく必要があります。

【ポーランド・マワシェビチェの積替えポイント】



(出典: Google Map)

【マワシェビチェでの積替え作業】



(弊社撮影)

以上

弊社では「ユーラシア・ランドブリッジ」の実態とリスクについて調査を進めています。本テーマは全3回の特集記事とし、以下の通りご案内します。

<次号以降の予定>

- 次号: 「ユーラシア・ランドブリッジ」の現状と今後(2) ※7月25日頃発行  
「チャイナ・ランドブリッジ」の輸送ルートと輸送環境の実態について解説します。
- 次々号: 「ユーラシア・ランドブリッジ」の現状と今後(3) ※8月8日頃発行  
「シベリア・ランドブリッジ」の輸送ルートと輸送環境の実態について解説します。

<参考文献一覧>

- シベリア鉄道の利用促進について(国土交通省)  
[http://www.maff.go.jp/j/kokusai/kokkyo/food\\_value\\_chain/attach/pdf/haifu\\_5nd-1.pdf](http://www.maff.go.jp/j/kokusai/kokkyo/food_value_chain/attach/pdf/haifu_5nd-1.pdf)
- 中国-アジア鉄道物流事情調査報告書(日本国際貿易促進協会)  
<http://www.japit.or.jp/event/2015/2015china-asiarail.pdf>
- 2015年7月22日付みずほレポート(みずほ総合研究所)  
<https://www.mizuho-ri.co.jp/publication/research/pdf/report/report15-0722.pdf>